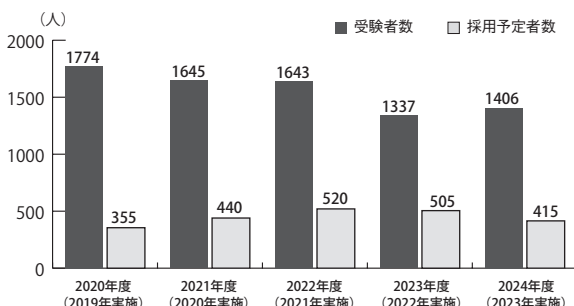


宮城県

面積	7,282 km ²
人口	2,246,257人
県の花	ミヤギノハギ
県の木	ケヤキ
県の鳥	ガン

求める教員像	みやぎの教員には、教員個人の持つ教育への情熱や自己研鑽力、たくましく豊かな人間性を基盤として、職場内外での各種研修等によって、授業力や子ども理解、生徒指導力などの実践力をより確かなものにすることが求められています。
出願期間	公開日 4月13日(土) 電子申請 4月15日(月) 9:00~5月13日(月) 17:00
試験日程	1次試験 試験日 7月13日(土) 合格発表日 8月2日(金) 2次試験 試験日 個人面接・集団討議:8月28日(水)~30日(金)・9月3日(火)・4日(水)の指定した1日 実技試験:9月5日(木) 合格発表日 9月27日(金)
年齢制限	昭和40年4月2日以降に生まれた者
募集教科	【小】(一般枠・地域枠(気仙沼・東部・北部)・英語枠・特別支援学校枠) 【中】(一般枠・特別支援学校枠) 国語、社会、数学、理科、技術、英語 【中高】(一般枠・特別支援学校枠) 保健体育、音楽、美術、家庭 【高】(一般枠・特別支援学校枠) 国語、地理歴史(日本史、世界史、地理)、公民、数学、理科(物理、化学、生物、地学)、農業、工業(機械、電気・電子、建築、土木、化学)、商業、水産(航海系、機関系)、看護、情報、福祉、英語、理療 【養】 【栄】(栄養教諭A:県内公立(仙台市立を除く)で現職の本務栄養職員として勤務している者)
特記事項	■特別選考 ●教職経験者特別選考(栄養教諭Aは教職経験者特別選考に準ずる) 次の(1)、(2)のいずれかに該当する者は、1次の教職・一般を免除。(1)令和3年4月1日~令和6年5月13日の期間に県内公立学校で勤務し、出願時に県内公立の講師、非常勤講師、実習助手等として勤務しており、講師又は非常勤講師の勤務経験が通算12月以上ある者。(2)令和3年4月1日~6年5月13日の期間に次の①、②のいずれかに該当する者。①国内国公立の教諭等の勤務経験が通算24月以上ある者。②国内国公立の講師の勤務経験が通算24月以上ある者。●他県現職者等特別選考 国内国公立で令和3年4月1日~令和6年5月13日の期間に教諭等の勤務経験(受験予定の校種と同一であること)が継続して24月以上ある者は、1次を免除。●宮城県元職者特別選考 県内公立で本務教員の勤務経験(受験予定の校種・教科(科目)と同一であること)が36月以上あり、退職後10年以内の者は、1次を免除。●前年度の教員採用候補者選考の第2次選考における総合ランク「C」の受験者 前年度の校種・職種・教科と同一の出願に限り、1次を免除。 ■障害者特別選考

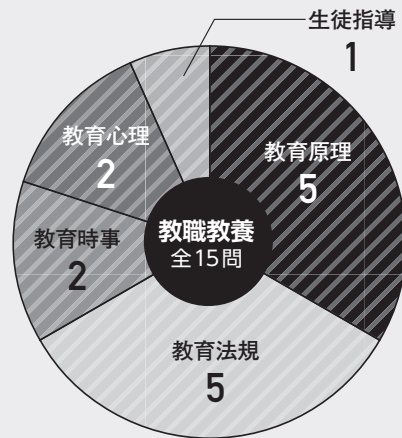
▼受験者数等推移



▼令和4年度 問題行動調査でのいじめの認知件数と不登校児童・生徒数

	小学校	中学校	高等学校
いじめ(件)	12,318	2,058	229
不登校(人)	2,066	4,122	1,552

2025年度(2024年実施) 筆記試験DATA



- ▶ 幅広い領域から出題される特別支援教育
- ▶ 要注意の「生徒指導提要」
- ▶ 人文科学は国語(文法)、英語(文章読解)

〈教職教養〉の**教育原理**(特別支援教育, 学校安全等)のうち, 特別支援教育は幅広い分野から出題されている。今年度は「障害のある子供の教育支援の手引」(2021年)から個別の教育支援計画の作成・活用等による効果に関する問題や, 「新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議報告」(2021年)からICT利活用の意義と基本的な考え方を問う問題が出題された。また, 教育法規と重複するが, 学校教育法第72条や障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律第7条第2項も出題されている。学校安全では「学校の『危機管理マニュアル』等の評価・見直しガイドライン」(2021年)や「学校事故対応に関する指針【改訂版】」(2024年)に関する問題等が出題された。

生徒指導では幅広い領域から出題されており, 今年度は, 昨年度に続いて「生徒指導提要」(2022年)の「第1章 生徒指導の基礎」から生徒指導の定義と目的を問う問題がみられた。また, 教育法規とも重複するが, いじめ防止対策推進法から第15条を問う

問題も出題されている。

教育時事では, 「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」(2021年)からICTを活用した学びのあり方を問う問題が出題された。また, 「夜間中学の設置・充実に向けて【手引】(第3次改訂版)」(2023年)に関する問題等もみられた。

教育法規では, 教育基本法やこども基本法等を問う問題が出題された。

教育心理では, 人格理論(マズローの欲求階層説)と教育評価(診断的・形成的・総括的評価)に関する問題がみられた。

〈一般教養〉のうち, **人文科学**では例年, 国語(文法)と英語(文章読解)を中心として出題されており, 今年度も同じような傾向となった。**社会科学**では経済・倫理以外の分野から広く出題されており, 今年度は政治(日本国憲法)と時事(教育事情)から出題された。**自然科学**では例年, 数学と理科全般から幅広く出題されており, 今年度, 数学では一次関数が, 理科では地学(太陽系と宇宙)等が, それぞれ出題された。